



林野庁  
東北森林管理局  
津軽白神森林生態系  
保全センター  
平成30年6月20日  
No.144

## 第1回森林教室を十二湖で開催

5月26日(土)今年度第一回目の森林教室を深浦町にある十二湖自然休養林にて、深浦町と共催で開催しました。当日は清々しい好天に恵まれて、27名の参加者は、初夏の湖沼はじめ美しい天然林やこの季節の植物・野鳥など印象的な景観を眺望するとともに、自然の素晴らしさを十分感じることができたことと思います。今回は親子参加を含む初参加者が18名となりました。

この日の森林教室は4班に分かれ、応援に駆け付けた局技術普及課の職員と当センター職員がガイドを勤めました。十二湖を含む白神山地については植物の解説に加え、白神山地に生育する木材の特徴など説明しながら森林散策を行いました。

なお、十二湖は世界自然遺産白神山地の麓にあり、神秘の色を湛える青池・沸壺の池をはじめとする三十三の湖沼群や、豊かなブナ原生林に囲まれており、平成25年3月青森県内で初めて、医学的な証拠に裏付けられた「癒し」効果が認められ、「森林セラピー基地」として認定されています。

当センターでは10月13日に西目屋村方面で第二回目の森林教室を、自然再生活動を7月21日と9月15日に行う予定です。多くの皆様の参加をお待ちしています。(吉川)



説明に聞き入る参加者の皆さん



ブナ自然林を見学する参加者

## 平成30年度第1回巡視員会議(青森県側)を開催

今年度も世界遺産地域への入山シーズンを迎えるにあたり、白神山地世界自然遺産に携わる連絡会議関係機関や各機関委嘱巡視員が一堂に会する白神山地世界遺産地域巡視員会議を6月1日金曜日に西目屋村中央公民館において開催しました。開催にあたり東北森林管理局島内計画保全部長より挨拶があり、会議開催の主旨、昨年度に白神山地であった違法行為、ニホンジカの監視、早池峰山でのニホンジカ被害状況について話がありました。

引き続き委嘱状交付式を行い、巡視員の代表者へ島内部長より委嘱状と巡視員証が交付されました。交付を受けた巡視員からは、今シーズンの巡視活動・マナー啓発活動について意気込みを一言いただきました。

会議内容は、白神山地周辺における各機関の事業計画の説明に始まり、巡視員の活動についての説明、入山マナー向上の協力依頼、合同パトロールの実施、ニホンジカ等の情報収集の説明を行い、今年度の取組について申し合わせをしたところです。

また、情報提供として、東北森林管理局より早池峰山周辺地域におけるニホンジカの生息状況・森林影響調査及びマダニ対策についての説明があったところです。

今後、夏から秋に向け見頃を迎える白神山地周辺には、多くの方々が訪れると思います。巡視中の巡視員の方と会われた際には、巡視員の啓発活動をご理解、ご協力のうえ入山マナーを守り、豊かな自然を満喫し、楽しい思い出を持ち帰っていただければと願っております。

そのためにも各関係機関、関係市町村、巡視員の皆様の御協力をいただき、入山マナー普及啓発に努めていきます。(三浦)



巡視員会議の様子

## センサーカメラを設置しました

今年度も昨年度に引き続き白神山地周辺地域(青森県側)において、ニホンジカやハクビシン等の森林生態系に影響を及ぼす可能性のある哺乳類の分布状況把握などを目的としたセンサーカメラを設置しました。

当センターでは目撃情報が増加しているニホンジカ監視体制を更に強化するため、昨年度より2台増設した合計32台のセンサーカメラを5月下旬までに随時設置しつつ、5月29日(火)にはセンサーカメラ設置・データ回収作業を報道機関の方々へ公開しました。

昨年度設置した6箇所のセンサーカメラからは、ニホンジカ♂8頭・性別不明1頭の合計9頭が撮影されたほか、ニホンカモシカやツキノワグマ、タヌキなども撮影されました。

今年度5月25日現在のデータを確認したところニホンジカは写っていませんでしたが、ハクビシンやツキノワグマ、カモシカ、アナグマ、タヌキなどの哺乳類が写っていました。今後、月1回程度のデータ回収を行っていきます。(葛西)



## 各種クリーン作戦へ行きました

### ○十三湖・五月女菴（そとめやち）クリーン作戦

津軽森林管理署金木支署が主催するクリーン作戦が5月28日（月）に五所川原市十三の五月女菴国有林（十三湖）で実施されまして、当センター職員も参加してきました。

現地へ行く道中は雨がパラパラと降ったり止んだりしていたのですが、到着してみると十三湖付近は曇り空で作業するにはちょうど良い天候でした。今回の参加者は金木支署職員をはじめ関係者など49名が集まり、ヒバリが鳴く空の下、各ゴミを見つけては配布されたゴミ袋へ拾い集めました。

集めたゴミを見たところ、海から漂着したロープや発泡スチロール、ポイ捨てされたペットボトルやプラスチック容器（現地は釣り場として人気）、不法投棄された冷蔵庫（今回の集めたゴミで最大とのこと）など大小様々なものがあり、軽トラックで10台分にもなりました。

その中で個人的に驚いたというか呆れたものは、不法投棄された浴槽と風呂釜です。十三湖



クリーン作戦前の様子



浴槽等を積み込んだ軽トラック

と日本海、それと岩木山を眺めながらの露天風呂を味わいたかったのか・・・は冗談ですが、ここまでコソコソと持ってきて捨てることを考えたら、近くのゴミ処分場に持って行った方が断然楽だと思えるのです。ほんと、困った人がいたものです。

クリーン作戦の開始前と比較すると、ハマナスの花が目立つ美しい砂浜へと変わっていて、この状態が長く続いてほしいと願うばかりです。当センターでは、今後もクリーン作戦など環境保全の行事があれば積極的に参加していきたいと考えています。

(葛西)

## ○白神自然体験 WALK&クリーン作戦

平成30年6月3日(日)に白神案内山の会・白神歩く会(代表山田兼博)が主催するクリーン作戦を参加者50名程度により、白神ラインとブナ林散策道の2カ所で作戦を展開しました。今年度も昨年度同様にゴミがほとんど無い状況で、主催団体の今日までの取組の成果、遺産地域周辺を訪れる人のマナーに対する意識の高さ感じ取れるものでありました。(ゴミが少なすぎて、ゴミ拾いの模様は一切撮影できないくらいでした。)(三浦)



作業開始前のミーティング

## 第一回自然再生活動～水を育むブナ林再生教室～を開催します

月 日：平成30年7月21日(土)

開催場所：青森県中津軽郡西目屋村 鬼川辺国有林内 外

募集人員：20名(親子での参加を優先し、応募多数の場合は抽選)

参加費：200円(傷害保険料外・バス代は無料です)

イベント内容：ブナ林再生活動としての広葉樹苗木の採取等と森林散策。

その他：雨具・昼食持参。森林内で作業が出来る服装。

※天候等により内容を変更する場合があります。

募集期間：6月21日(木)～7月6日(金)

※平日8時30分～17時15分まで(土日祝除く)

応募方法：電話・FAX・ハガキにてお申し込みください。

お申込み前にホームページ・チラシ等で詳細をご確認ください。

